

全国科学博物館協議会 令和元年度海外先進施設調査報告

アメリカ・カナダの科学博物館における先進的な経営基盤の強化方策

令和元(2019)年9月19日(木)～9月28日(土)

研修費助成:公益財団法人カメイ社会教育振興財団

全国科学博物館協議会

独立行政法人国立科学博物館
岩崎 誠司

国立科学博物館の岩崎です。令和元年度の、海外先進施設調査の報告をいたします。

アメリカ・カナダの科学博物館における先進的な経営基盤の強化方策について調査を行いました。コロナ以前の約3年前の情報となることをお許しください。

研修費の助成をいただきました、カメイ社会教育振興財団、全国科学博物館協議会に深く感謝いたします。

参考：ICOM京都大会（2019年9月1日－7日）

背景

平成29年6月 『経済財政運営と改革の基本方針2017』(閣議決定)

「文化経済戦略の策定」と「文化財公開・活用に係るセンター機能の整備等による文化財の保存・活用・継承」

平成29年12月 『文化経済戦略』(内閣官房及び文化庁)

「産業競争力を決定付ける“新たな価値の創出”を文化が牽引」、「文化経済活動を通じた地域の活性化」



平成30(2018)年 国立科学博物館が文化庁の所管となる

平成31年(2019)年 科学系博物館イノベーションセンターを設置

自然史・科学技術系の博物館もわが国の文化の振興を担う一翼として、今後の経済や産業の振興に貢献



今回の調査

博物館の各種の事業を維持していくための自己収入増加、経営基盤の強化

アメリカ、カナダの各博物館が取り組む経営基盤の強化、その経営理念や運営方法、背景を学びたい



日本の状況に合った方策

調査の背景ですが、平成29年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2017」の閣議決定、平成29年12月に『文化経済戦略』の策定など、「産業競争力を決定付ける“新たな価値の創出”を文化が牽引」することや「文化経済活動を通じた地域の活性化」が課題となりました。

そのような中、当館は平成30年に文化庁の所管となり、翌年には科学系博物館イノベーションセンターが設置されました。

科学系博物館として、わが国の文化の振興を担う一翼として、今後の経済や産業の振興に貢献するにはどうしたらよいか、私も模索していました。

アメリカ、カナダの各博物館では、以前より経営基盤の強化に取り組んでおり、その経営理念や運営方法、背景を学び、日本の状況に合った方策を見出したいと考え、各博物館の担当者へのインタビューやメール質疑により情報収集を行いました。

調査概要

1. 調査テーマ：アメリカ・カナダの科学系博物館における
先進的な経営基盤の強化方策
2. 調査内容：①ASTC(科学館協会)年次協議会参加
②アメリカ、カナダの各博物館の経営理念と運営方法
3. 調査施設：カナダ国立自然史博物館(オタワ)
オンタリオ・サイエンスセンター(トロント)
シカゴ産業技術博物館(シカゴ)
フィールド・ミュージアム(シカゴ) ☆文部省在外派遣研修(2001)
4. 参 考：ロイヤル・オンタリオ博物館(トロント)
シカゴ美術館(シカゴ)

調査の概要です。

ASTC2019の参加と、アメリカカナダの複数の博物館を訪問し、情報等をいただきました。今回は、黄色の館を中心にお話します。



行程はこのようになりまして、五大湖の近くをまわりました。話の都合上、順番が前後いたします。

ASTC(科学館協会)2019年 年次協議会 MOON SHOTS



まず、ASTC2019です。この年にはICOMの京都大会があり、多くの方が参加されたと思います。その2週間後にASTC2019に参加しました。

大会のテーマは、MOON SHOTS。これは、月ロケットの打ち上げの意味です。アポロが月面に着陸したのが1969（昭和44）年で、その50周年となる記念大会でした。ホストはカナダのオンタリオ・サイエンスセンターが務めました。右の50年記念のモニュメントはMOON SHOTS 50周年ではなく、オンタリオ・サイエンスセンターの開館50周年を記念したものです。

1969年は「世界初の体験型の科学館」と言われるエキスポラトリウムとオンタリオ・サイエンスセンターが設立された年でもあります。

そのため大会では、科学館の歩みをふりかえるとともに、現代的な課題（特に多様性）について、科学館がどのように社会をリードするのが議論されました。

（参考）

アポロ月着陸 1969年7月20日

オンタリオ・サイエンスセンター開館1969年9月26日

エキスポラトリウム開館1969年



会場のトロントはカナダのオンタリオ州の州都であり、同国最大の都市です。

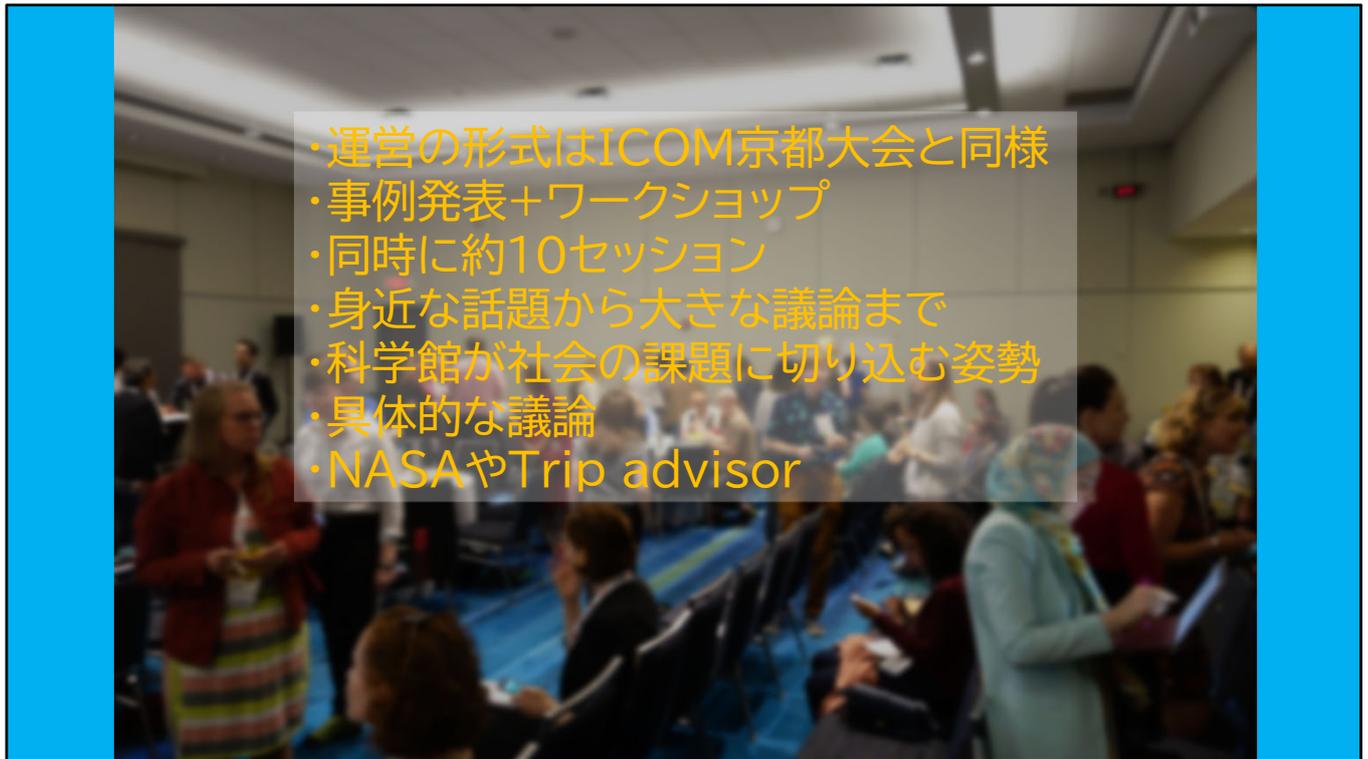
野球のブルージェイズ（カケス）の本拠地としても知られます。会場は野球場のすぐそばでした。

各国の留学生もボランティアとして大会をサポートしていました。

大会では、各博物館や関係企業の見本市も併設されており、タイの博物館からも、巡回展の買い付けに来ていました。



会議の進めかたは、ICOM京都大会と同様に、1時間のセッションの中に複数のプレゼンテーションがあり…



- ・運営の形式はICOM京都大会と同様
- ・事例発表+ワークショップ
- ・同時に約10セッション
- ・身近な話題から大きな議論まで
- ・科学館が社会の課題に切り込む姿勢
- ・具体的な議論
- ・NASAやTrip advisor

その後、グループに分かれて意見交換を行い、まとめたものを共有する形でした。

環境問題やセクシュアリティ、貧困など、日本の科学館では扱わずらいのでは、と思える内容も普通に議論されていました。

具体的な内容が多く、貧困家庭への対策として、入館料免除制度があるとの意見に対し、子どもの前で生活保護受給証を提示したくない父親は来館しないからどうするか、とか、

NASA主催のセッションでは、アポロの月着陸を信じないアメリカ人に対して、着陸成功を普及させるためのプロジェクトをスタートしたので、科学館に協力してほしい、

Tripadvisorの評価が来館者増につながるなので、評価を上げるにはどうしたらよいか、悪いコメントが付いた場合にどのように対処するかなど、専門家を交えて議論が行われていました。



こちらは全体会が行われた一番広い会場です。
北アメリカを中心に500名くらい参加していました。
一同で昼食を食べているところです…



こちらは昼食のコースの一皿です。



この昼食代およそ500人分は全てカブリ財団の提供でした。

大会の動画記録や配信は、Panasonic USAが担当し、会場のWi-Fi環境設備も大手通信会社が無償提供するなど、大会が財団や企業からのサポートにより行われていました。

参加者からは、自分たちの活動は社会をリードしている、それゆえに社会の様々なセクターが支援してくれるのだ、という自負を感じました。

(参考)

カブリ財団 (The Kavli Foundation) は、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスに本部を置く、科学の進歩と公衆の理解の向上を支援し、科学者とその研究に対する援助を行う財団である。

カブリ財団は、2000年12月にノルウェー出身の企業家であるフレッド・カブリにより創設された財団で、アメリカ合衆国、ヨーロッパ、アジアの大学で研究機関の設立に積極的に関わっている。

カブリ:航空宇宙、自動車および産業用アプリケーション用センサーにおける世界有数の企業。



ASTC2019ホスト館 オンタリオ・サイエンスセンター

変わりました、大会のホストを務めた、オンタリオ・サイエンスセンターです。



1969年に開館した、世界で最初に設立された体験型の科学館の一つで、建物の設計はレイモンド・モリヤマ氏、展示設計はミヤケ・タイゾウ氏。50周年となります。

体験型の科学館の誕生は画期的なことで、開館の年にはジョン・レノンとヨーコも訪れたそうです。

私は、設計者のミヤケ氏に2度お話を伺う機会があり、どうやって参加体験型展示のコンセプトに行き着いたのかを尋ねたことがあります。

「設計を始めてから開館までに3人の知事が交代し、徐々に中身に関心がなくなり、自由に設計してよいことになった。設計のメンバーで内容を試行錯誤するプロセスが面白かったので、それをコンセプトにした科学館を作ることにした」と教えていただきました。

「開館当初とリニューアルを経た現在では、展示コンセプトが変わった」、ともお聞きしておりましたが、いつか実際に訪れたいと思い続けてきました。



(左) Cathie Spencer

左が対応いただいた、キャシー・スペンサーさん。
オンタリオ・サイエンスセンターで30年以上教育に携わり、ミヤケ氏のことも
ご存じでした。このときは、巡回展の国際セールスの担当でした。



サイエンスセンターでの静電気のショーの様子です。他には市民の健康や生活に即した内容を深掘し、「自分で考えさせる」ように設計されていますが、先進的とまでは言えない…



ボランティア

かはくのモノ語りワゴン？

館内でボランティアがワゴンを使って活動していました。数人に、館のコンセプトである体験型展示の意義について尋ねたところ、自信をもって答えてくれ、十分な研修が行われていることが伺われました。肢体不自由の車いすの学生も普通にボランティア活動をしていました。

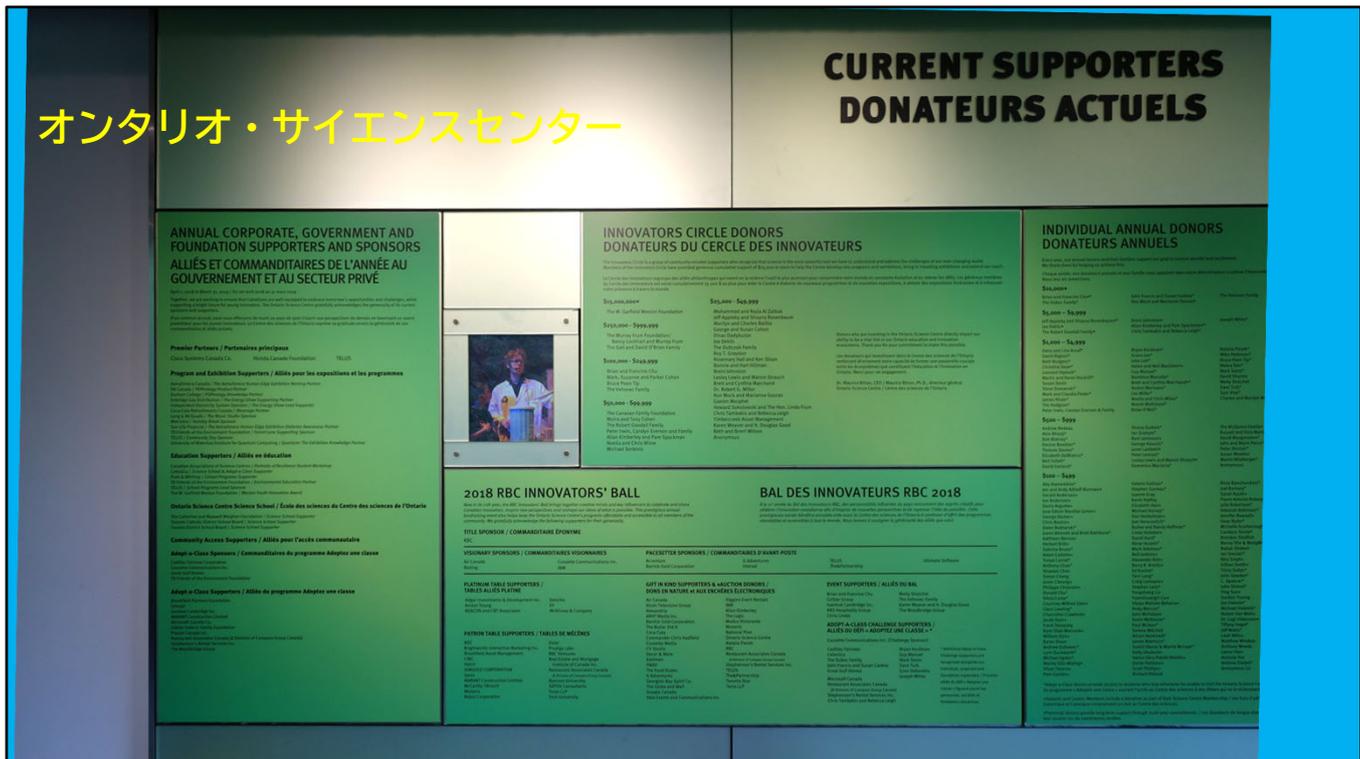


センターが関わっている社会活動として・・・

カナダは移民を積極的に受け入れている国であり、英語・フランス語を母国語としない家族も増えています。

センターの隣の小学校では、親とカナダに移住してきたばかりで、英語を話せない子供たちを受け入れており、科学的な内容の授業の中で、子供たちが指導者の英語の指示により体験を通して英語を習得させています。

そうした授業を行う科学系の団体に企業が寄付をしています。



センターの芳名板です。寄付、企業協賛を積極的に受け入れており、新規の展示室を制作する際には企業等には資金協力を強く働きかけています。

オンタリオ州からの予算も個人からの寄付や企業協賛と同列に扱っている点が興味深いと感じました。当館の芳名板の更新を検討していた時期で、各館の芳名板を記録してきましたが、芳名板自体も寄付により作成されていることが多かったです。



また、個人からの寄付を集める工夫として、寄付者の手形のサーモグラフィ画像を、展示室の壁に投映していました。

それぞれは少額でも、子供たちが科学館の運営に参加しているという意識を育むためとのこと。



ASTCの夜のウェルカムパーティーの様子です。センターの展示室を使って飲食。床もかなり汚れてしまっていて、翌日の開館が心配されました。

ミヤケ氏から聞いた「試行錯誤するプロセスを楽しむ」という開設当初の展示理念は薄く見えました。



Challenge Zone :

パーティーのさなかに、Cathie氏が特別に案内してくれた生徒向けの体験学習室です。展示室のバックヤードのような場所で、彼女によると「がらくたがたくさんあるような部屋」。

この部屋では、現代の様々な答えのない課題を学校団体の子供たちに考えさせており、廃品など、リサイクルした材料を使って、解決のためのアイデアを模索させています。この学習室の運営費は企業から資金を得ています。

中には、現代の課題の原因となっている企業もあるのではないかと質問したところ、健康被害の原因となるタバコメーカーからも資金を得ているとの答えで、生徒が課題に対して出した提案がスポンサー企業にフィードバックされ、企業の経営や活動に反映される場合もあるとのことでした。

科学館にとって企業は単なる資金提供者ではなく、現代の課題にともに向かうパートナーと位置付けています。センター設立当初の理念が「社会を変えることに参画する体験」として引き継がれていると感じました。



フィールド・ミュージアム The Field Museum

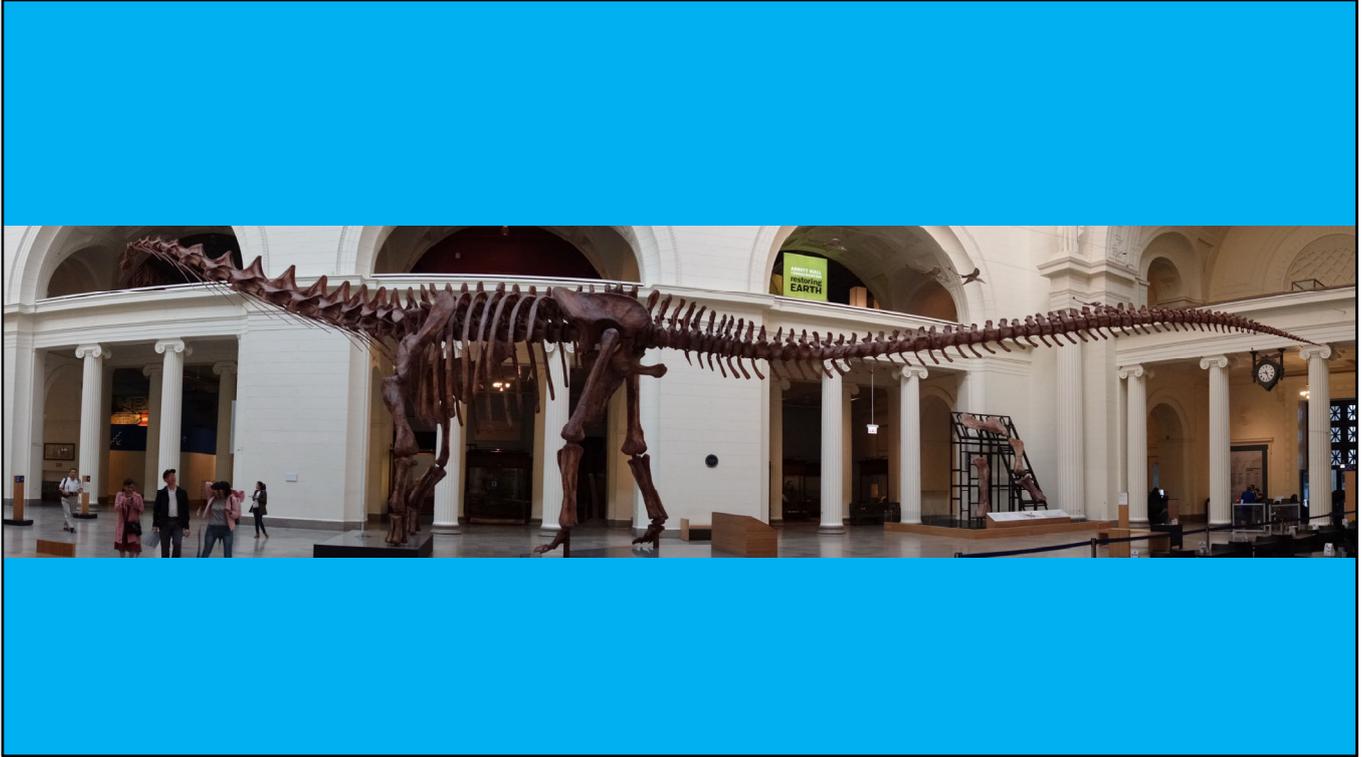
対応者:

Charles L. Katzenmeyer, Vice President, Institutional Advancement

Geneva Stirling Ranney, Director of Principal and Major Gifts

フィールド・ミュージアムです。

アメリカ中央部の高層建築の都市シカゴにあります。私は在外派遣研修で2001年末から3か月間滞在しました。9.11テロがあった年で、まだ3か月しか経っておらず、街も博物館も緊張感がありました。当時の館長は、「自分はCEOで博物館の価値を高め、それにより多くの寄付を集めることが使命である」と明言しており、館内で寄付金集めパーティーやオークションが行われていました。約20年がたち、現在の様子を知りたいと訪問しました。



フィールド・ミュージアムといえば、ティラノサウルスのSUEを所蔵することで知られ、以前はホールに実物の全身骨格化石が展示されており、その周りで寄付集めのディナー会なども行われていました。

SUEは、2018年に2階の恐竜展示室に移され、かわりに、発見された中で最大の恐竜であるチタノサウルスの骨格が展示されていました。



恐竜展示室の導入はこのような感じで…



この展示室を提供した、グリフィン財団の名前が紹介されています。

(参考) グリフィン氏 略歴

Born in 1968, Kenneth Cordele Griffin was somewhat of a math prodigy and excelled in high school. He graduated from Harvard University in 1989 with a degree in economics. During his first year at Harvard he started investing after being inspired by an article in Forbes magazine. He established a hedge fund in his second year of college with investments from his family and friends totaling \$265 000. He formed a second fund in 1987 and between both had assets under management of around \$1 million.

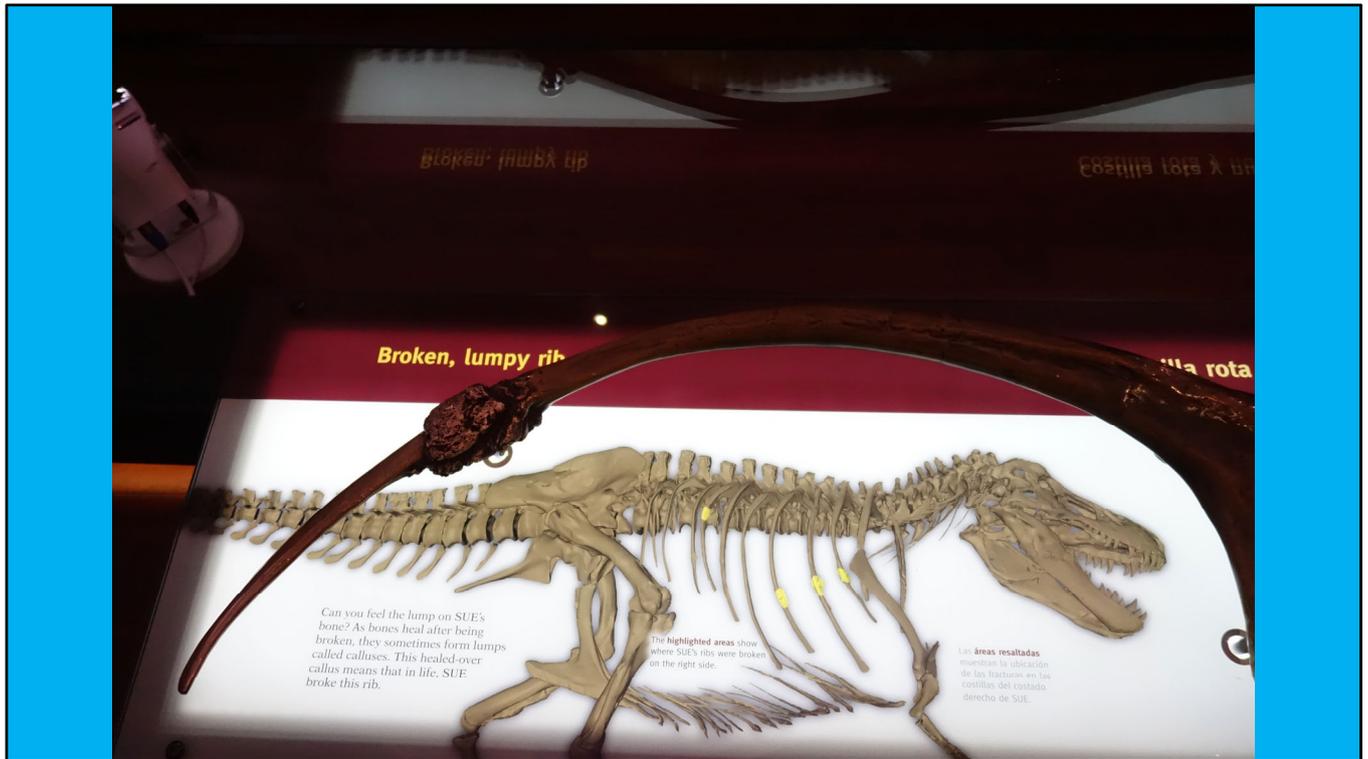
After graduation, Griffin was approached by founder of Glenwood Capital LLC, Frank C. Meyer who gave Griffin \$1 million to invest on his behalf netting returns of around 70%.



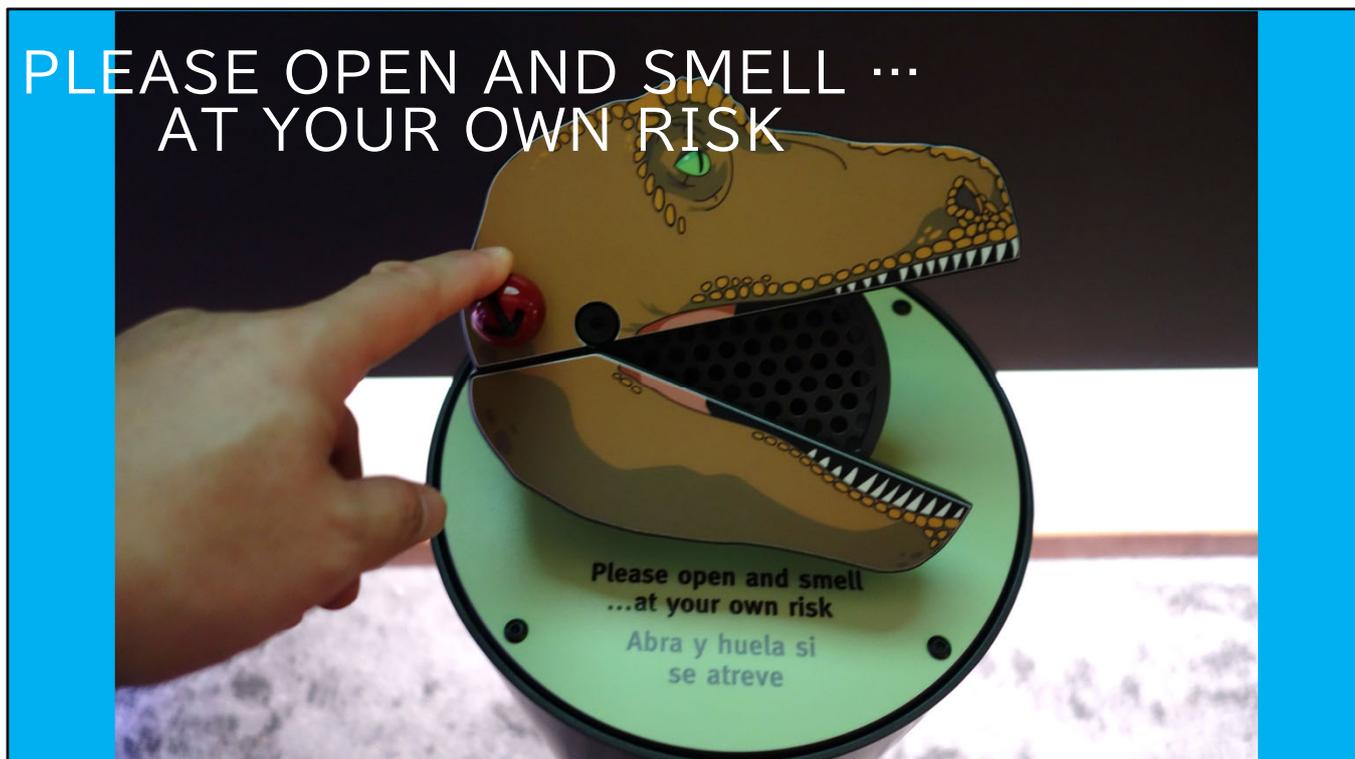
SUEは、2Fの恐竜展示室に最新研究を反映させた内容で設置されています。



解説もわかりやすく、特徴である前足について



肋骨の骨折と治癒



スーの匂い。生臭いにおいでした。

lo es entre entusiastas de dinosaurios e el mundo. Algunos lo quieren tanto que hecho tatuajes de SUE.

CASTS OF SUE'S BONES HAVE TRAVELED TO ALMOST ALL 50 STATES AND OVER 10 COUNTRIES, INCLUDING JAPAN

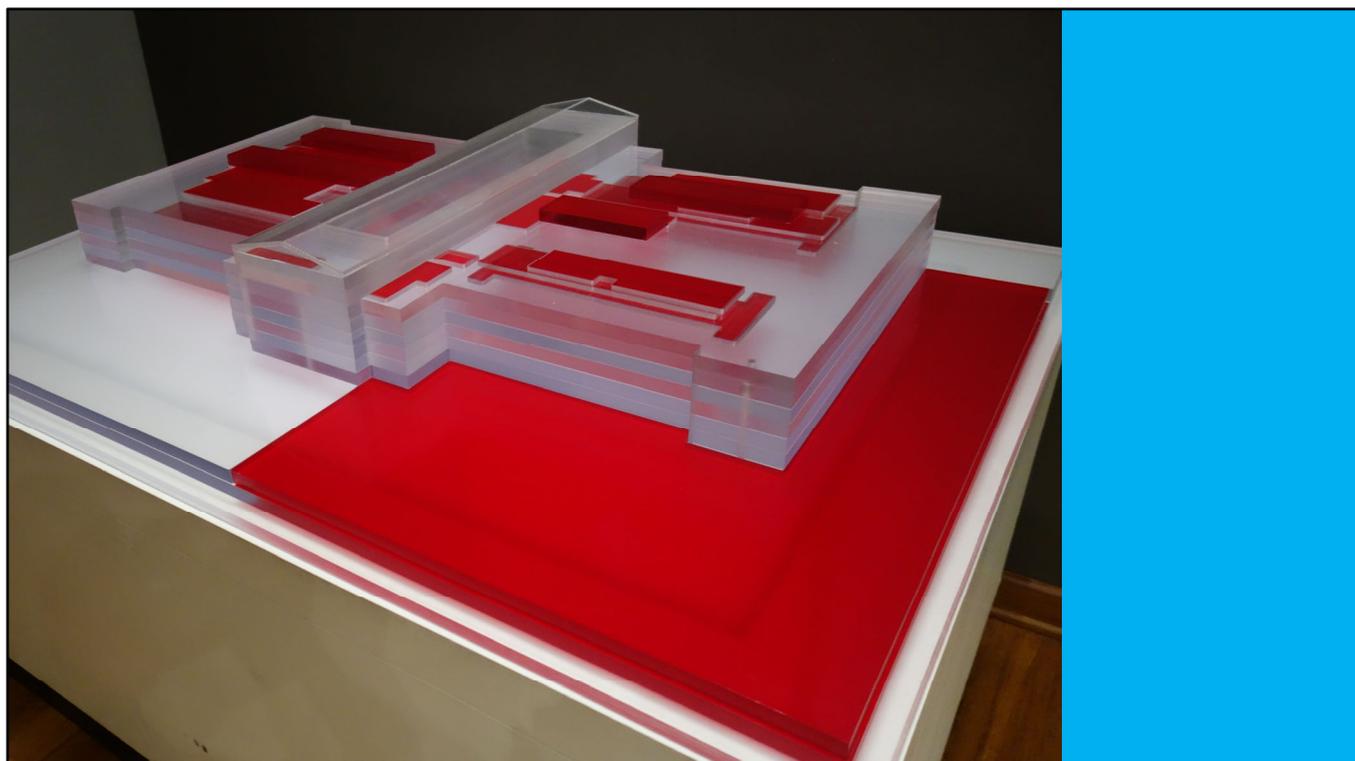
Since 2000, casts of SUE's bones have traveled to almost all 50 states and over 10 countries, including Japan.

Las réplicas de los huesos de SUE han estado en casi todos los 50 estados y más de 10 países, incluyendo Japón, desde el año 2000.

2000年からスーのレプリカはアメリカの全ての州と、日本を含む10か国に巡回した・・・ 「いのちのたび博物館」のチラシが展示されています。



こちらは別の財団が提供している「サイエンスハブ」というコーナーで、標本に触れたり、専門家が解説してくれる部屋です。
その一角に、Behind the scene (展示の背景には…)



赤いエリアは、収蔵と研究のスペース→支援をお願いしたい。

運営状況(賛助会)

- ・現在、5億800万ドル(約600億円)の基金
- ・5か年計画で、さらに2億5千万ドルの寄付を集める
- ・目的は獲得資金の基金化
 - ⇒普通預金に預けて4.5%の利子(25億円相当)
 - ⇒専門家による投資収益
 - ⇒博物館の運営費に充てる
- ・巨額の基金は、今後の経営を安定させるため
- ・将来的には現在の倍の10億ドルを目指す
(ハーバード大学はさらに大きい基金を持っている)

在外派遣で滞在した当時の教育副部長が、在籍しており、経営幹部に話を伺うことができました。

- ・ 現在、5億800万ドル(約600億円)の基金がある。
- ・ 5か年計画で2億5千万ドルの寄付を集めたい
- ・ 目的は獲得資金の基金化で、
 - ⇒銀行の普通預金に預けて4.5%の利子により25億円相当と専門家による投資を行い、収益を出し、これらを博物館の運営費としている。
- ・ 巨額の基金は、今後の経営を安定させるため
- ・ 将来的には現在の倍の10億ドルを目指す
(ハーバード大学はさらに大きい基金を持っているので、驚くべき数字ではない！)
- ・ 常設展示の半分以上が20年前からリニューアルされていない
- ・ 入館者数は大きく変わっておらず。科博は、90万人から300万人に増えたため、驚かれ逆に理由を質問されました。パールやチョコレート、Sueなどのフィールド博物館企画の特別展のおかげ、常設展示室を大人向けにリニューアルした。

(参考)

- ・ 現在の入館料(常設展のみ、3Dや有料ゾーンは含まず)は、シカゴ在住者18ドル、旅行者29ドル

博物館の在り方が違うのかも(社会教育施設≒無料)

企業が寄付をする理由

- ・地域における評価
- ・企業の従業員の誇り
- ・企業のトップ層は関係が密。情報交換
- ・優れている寄付先には、寄付が集中
- ・節税

フィールド博物館という社会的に評価の高い組織に寄付をすることは、他の組織に寄付するよりも高い評価を得られる

寄付を得るためには

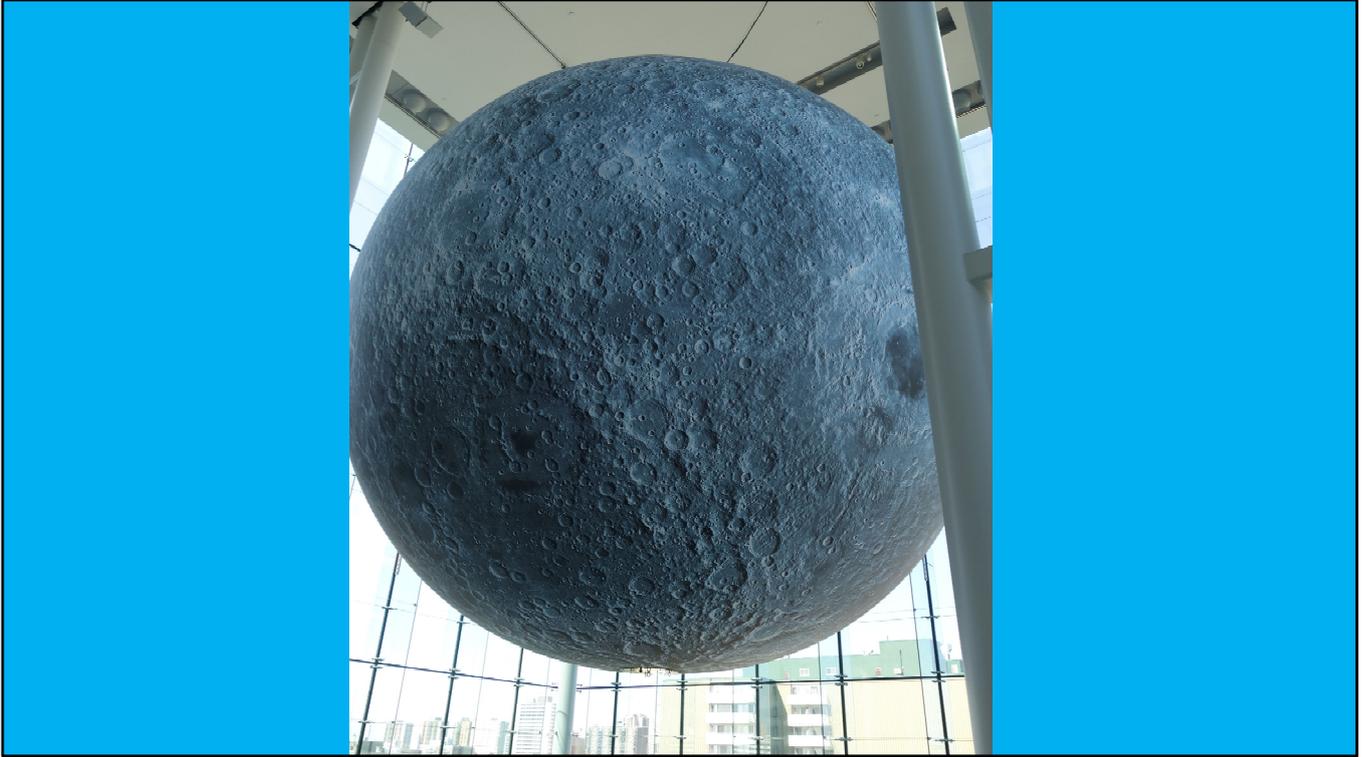
- ・正しい目的による活動を、正しいタイミングで行う
- ・寄付者がメリットを感じられるように配慮する
- ・展示や博物館活動を行う際に内容がどの企業からの寄付に結び付くかを考える

- ・企業の業務内容や記念の年などを考慮
- ・館内に、寄付の効果を評価する専門スタッフ



カナダ国立自然史博物館

こちらは、カナダで最も歴史のあるカナダ国立自然史博物館です。
中央のガラスのホールは、後から設置されたものです。



ガラスホールの中には、このようにモニュメントが掲げられ、時々交換されます。この時は「月」でした。



建物を上から見た写真です。国立博物館としてカナダで最初に建築された文化財に指定されている建物を使用しています。大きさは、国立科学博物館日本館の2倍くらい。展示や学習プログラムのほとんどは、ここで提供されており、研究、コレクション、管理業務は、ケベック州にある自然遺産キャンパスで行っています。



展示自体は古いが、そこに新しい知見を追加し、伝えようとしていることが感じられました。



John Swettenham, Chief Marketing Officer

館の運営について情報提供いただいた、John Swettenham, Chief Marketing Officerです。

A. カナダ国立自然史博物館 CANADIAN MUSEUM OF NATURE

運営状況

館の収入には、入場料のほか、政府からの資金と賛助会等からの寄付金がある。

政府の資金は、金額自体は減っていないが、カナダのインフレ率は過去10年間で平均2%を超えており、館の予算に対する政府資金の占める割合は約90%から約70%に減少した。

博物館の運営コストはそれ以上に大幅に上昇している。(オンタリオ州の電力コストは、政府がすべての石炭火力発電所をよりクリーンな発電所に移行)。

減収を補うために、博物館の入館者(40%増加)を増やした(常設展示と特別展示を比べると常設展示入館者の割合が増加)。常設展示入館料を徐々に(時には劇的に)引き上げ、特別展示の入館料も引き上げた)。その結果、入館料収入が80%増加した。

以前はワシントンのように国立博物館の入館料は無料であったが、1980年代に有料に変更された。6年前でも有料化は終わっておらず、入館料は他のマーケットに比べると低い状態にある。5年計画では、定期的な年間インフレ率を上回る入館料の引き上げを行った。

カナダ国立自然史博物館の年間予算は3,600万カナダドル(約30億円)。館の収入には、入場料のほか、政府からの資金と賛助会等からの寄付金があります。政府の資金はここ数年凍結されています。金額自体は減っていないが、カナダのインフレ率は過去10年間で年平均2%を超えています。そのため、政府資金の運営予算に占める割合は約90%から約70%に減少しました。また、博物館の運営コストのうち、オンタリオ州の電力コストは、政府がすべての石炭火力発電所をよりクリーンな発電所に移行しているため、大幅に上昇しています。

減収を補うために、博物館の入館者を40%増やしました。常設展示と特別展示を比べると常設展示入館者の割合が増加。常設展示入館料を徐々に(時には劇的に)引き上げ、特別展示の入館料も引き上げました。その結果、入館料収入が80%増加しました。オタワの国立博物館の入館料はワシントンと同様に無料であったが、1980年代に有料モデルに変更されました。6年前でも有料化は終わっていません。入館料は他のマーケットに比べると低い状態にあり、5年計画では、定期的な年間インフレ率を上回る入館料の引き上げを行いました。

(参考)

Free for members. Adult: \$17 Senior (65+): \$15 Tiny Tot (0-2): Free Child (3-12): \$13 Student (18+): \$15 Student (13+): \$15 Tax is not included.

収益を得るための活動

- ・成人向けプログラム:月1回 千夜一夜パーティーナイト。
- ・駐車場料金、会議等への施設貸与やイベント(結婚式)、ミュージアムショップ、カフェ
- ・企業スポンサー、ギャラリーのネーミングライツ、個人寄付など
- ・科学的な活動に対する助成金:カナダの国立生物多様性クライオバンク(超低温冷凍庫に検体DNAを保存する)。今後はスポンサーと寄付を増やすことを計画している。

エンターテインメントやレジャー分野との市場競争は激しい。観光客は国際価格に慣れているので問題ないが、入館者の6割は国内からであり、彼らのニーズをきちんと把握する必要がある。

市内の国立博物館はすべて財政的に苦境にあり、協議を行っている。政府からの資金が収入に占める割合は減少し続けるため、同じレベルの運営を維持するために、自己収入を増やす必要がある。

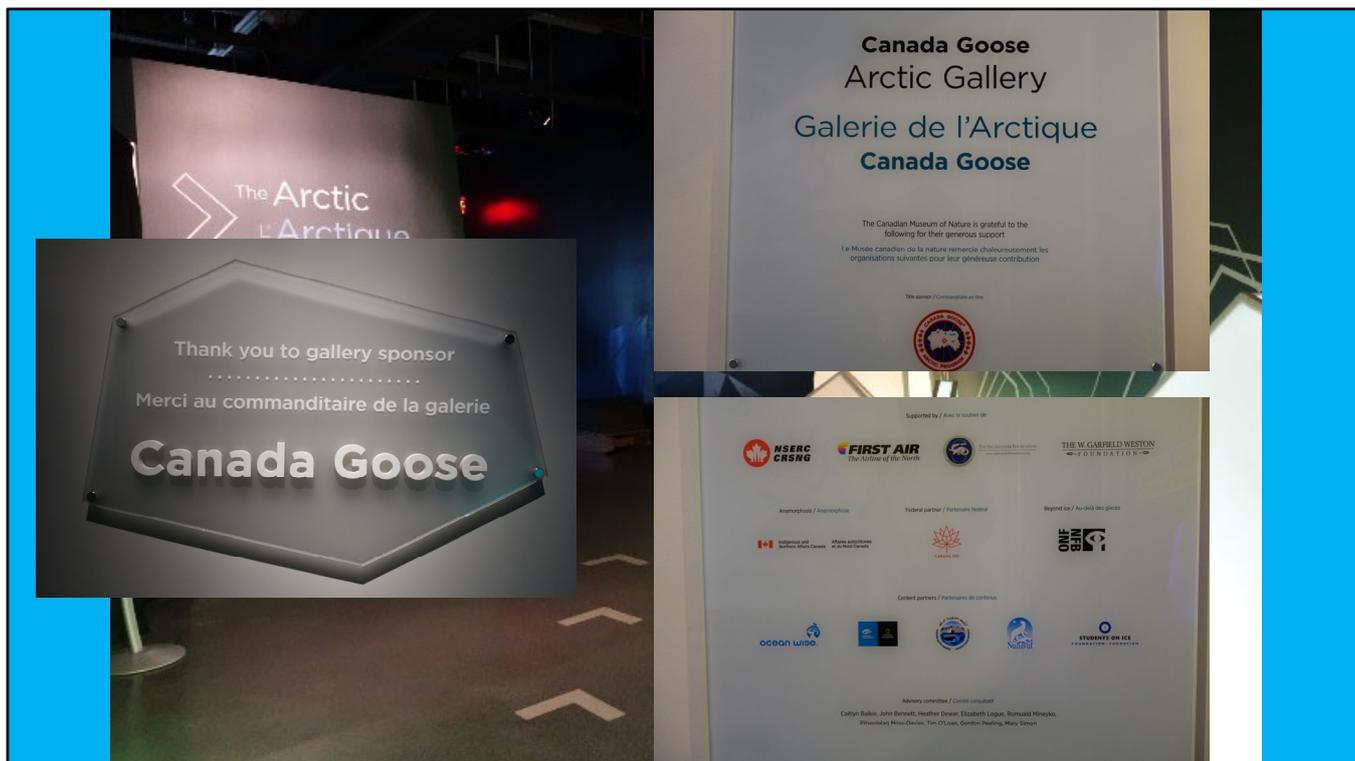
現在、財団の立ち上げを計画中。その目的は博物館活動のための資金獲得。財団の組織は理事会を任命することができる。理事会の委員は、個人や企業からの寄付やスポンサーを募る有力なリーダーとなる。

成人向けプログラムとして、月1回 千夜一夜パーティーナイトを行っています。商業収益として、駐車場料金、会議等への施設貸与やイベント(結婚式)、ミュージアムショップ、カフェ。企業スポンサー、ギャラリーのネーミングライツ、個人寄付などがあります。カナダ政府からの科学的な活動に対する助成金として、超低温冷凍庫に検体DNAを保存する「国立生物多様性クライオバンク」があります。今後はスポンサーと寄付を増やすことを計画しています。

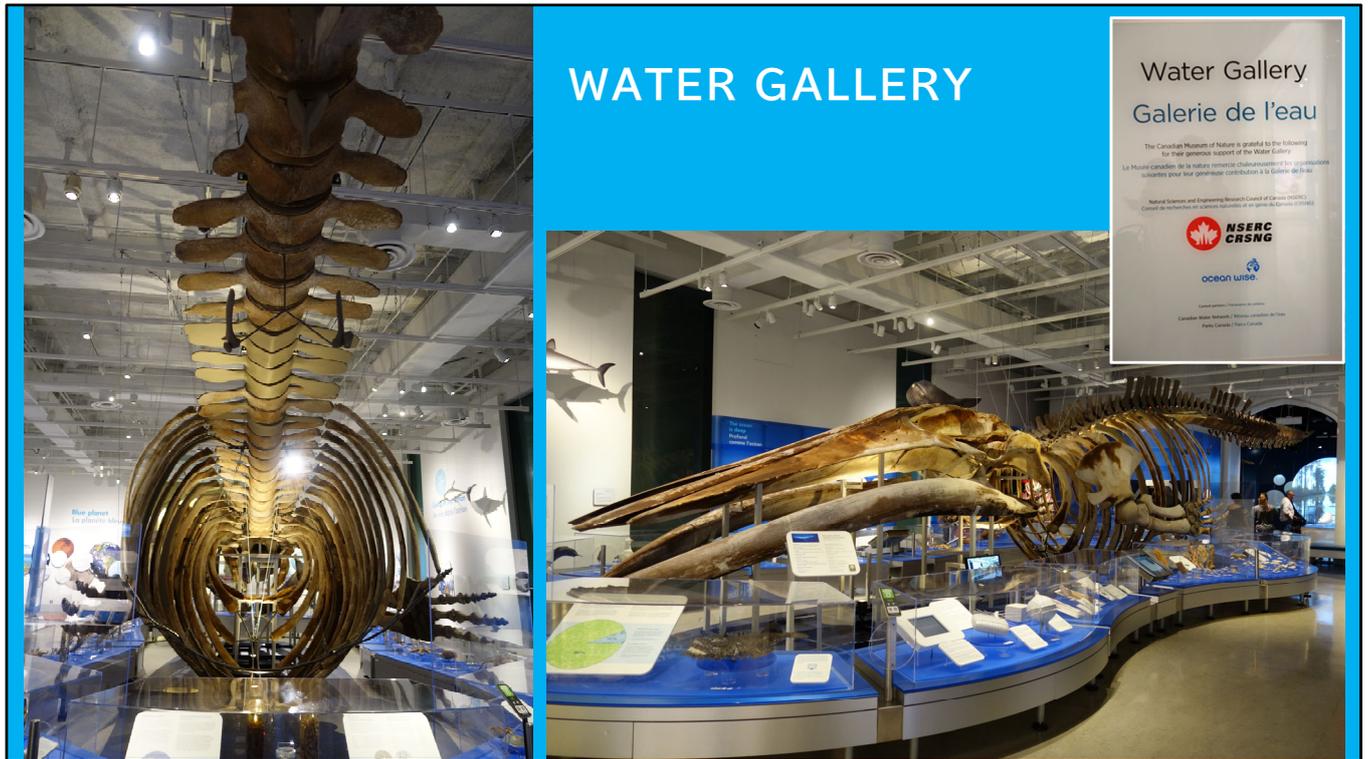
自然史博物館は、博物館の価値を強調することで、入館料を上げて、入館者数を増やすことができることを市内の他の6つの国立博物館に対して示しました。オタワの博物館は他の主要な博物館の入館料より高くなっています。また、エンターテインメントやレジャー分野との市場競争は激しい。観光客は国際価格に慣れているので問題ないが、入館者の6割は国内からであり、彼らのニーズをきちんと把握する必要があります。市内の国立博物館はすべて財政的に苦境にあり、協議を行っています。政府からの資金が収入に占める割合は減少し続けるため、同じレベルの運営を維持するために、自己収入を増やす必要があります。



カナダ自然史では、北極圏の自然や人間についての研究を行っていることから、常設展示では、「地球温暖化」の影響、原因と実際に起きている現象、そして我々がなすべきことを明示しています。



入口には寄付者・団体名が芳名板に掲載されています。



歴史ある建物を使っているため天井高さがないが、逆にクジラの骨格を斬新な視点で見せています。こちらにも芳名板があります。



John Swettenham,
Chief Marketing Officer → **Interim Co-President & CEO**

今回の報告にあたり、その後の変化を知りたく、各博物館に連絡したところ、ジョンから返信がありました。

暫定副館長になっており、執筆中の年報や詳しい情報をメールで送ってくれました。

カナダ国立自然史博物館の2年度分の経験(抜粋)

2022年現在

- ・断続的な臨時休館(24か月中の計11.5か月)
- ・健康指導に基づき、来館者のための空間を確保するために、時間指定券と定員制限
- ・再開館後は予約チケットはすべて売り切れ
- ・オンラインエンゲージメントへの移行:5種類のバーチャルツアー
- ・調査研究では、フィールドワーク(調査)ができなかったため、出版に注力
- ・政府は、博物館の失われた収入を補うために緊急資金を提供(2022年度はなし)

年次報告書(執筆中)

私たちの博物館には構造的な欠陥がある。

政府から緊急資金による支援を受けているが、実施不可能になったビジネスモデルが複数あり、このままだと約3年以内に営業赤字を補うことができなくなる。

MuseumNextのインタビュー(2021年): <https://www.museumnext.com/article/in-conversation-with-john-swettenham-from-the-canadian-museum-of-nature/>

カナダ国立自然史博物館では、この2年度の間に、

- ・ 24か月中の計11.5か月、断続的に臨時休館となった
- ・ 健康指導に基づき、来館者のための空間を確保するために、時間指定券と定員制限を導入
- ・ 再開館後の予約チケットはすべて売り切れ
- ・ オンラインエンゲージメントへの移行として、5種類のバーチャルツアーを公開
- ・ 調査研究では、フィールドワーク(調査)ができなかったため、出版に注力した
- ・ 政府は、博物館の失われた収入を補うために緊急予算を提供。しかし、2022度は支援なし

執筆中の年次報告書では、私たちの博物館には構造的な欠陥があり、政府から緊急資金による支援を受けているが、実施不可能となったビジネスモデルが複数あり、このままだと約3年以内に営業赤字を補うことができなくなる、としています。

まとめ

- ・カナダ、アメリカのインフレの急激な進行
- ・フィールド・ミュージアムの基金形成
- ・寄付の決め手 → よりよい活動を提案しようという動機
- ・ASTC2019年次総会
- ・協賛企業との関係
- ・日本でも、事業をとめないためのあらゆる取り組み

- ・カナダ、アメリカではインフレが進行し、各博物館が政府や自治体から受け取る資金が目減りしています。そうした状況を各館とも冷静に受け止め、外部資金や商業収入の獲得に努めています。
- ・フィールド・ミュージアムでは、コロナ前から経営基盤の安定のために寄付を集めています。これは、基金化し、普通預金の利子や投資により運営費に充てるためです。
- ・寄付の決め手となるのは、社会を良い方向にけん引する活動を続けているか、ASTC2019年次協議会でも、博物館関係者が社会の課題に対し、当事者として取り組み、社会を変えていこうとしていました。
- ・また、博物館の優れた研究活動や学習プログラムほど寄付を呼び込むことができるため、よりよい活動を提案しようという動機となっています。
- ・寄付には、協賛企業の意向に博物館が左右されるデメリットも懸念されるが、オンタリオ・サイエンスセンターでは、博物館と協賛企業の理想的なパートナー関係を見ることができました。
- ・社会にとって科学系博物館が有用な機関として認識されるためには、社会の課題を取り上げ、社会をけん引することが求められ、その役割を果たした結果として資金や協賛が集まるという循環が、博物館活動を発展させるうえで不可欠と考えられます。カナダ自然史博は、インフレの進行、コロナの影響があり、苦境にあるが、厳しい自己分析のもと、将来像を模索しています。

日本でもインフレが進むと、博物館もより苦しい状況となる可能性があり、事業を止めないためには、あらゆる取り組みを試みる必要があると考えます。

全国科学博物館協議会
令和元年度海外先進施設調査報告

アメリカ・カナダの科学博物館における先進的な経営基盤の強化方策

研修費助成:公益財団法人カメイ社会教育振興財団

全国科学博物館協議会

ご清聴ありがとうございました

独立行政法人国立科学博物館
岩崎 誠司

このような調査の機会をいただきました、カメイ社会教育振興財団、全国科学博物館協議会に重ねて感謝いたします。

みなさま、ご清聴いただき、ありがとうございました。

(参考資料)

各博物館の芳名板(寄付名の表示方法)

当日は発表せず

カナダ国立自然史博物館



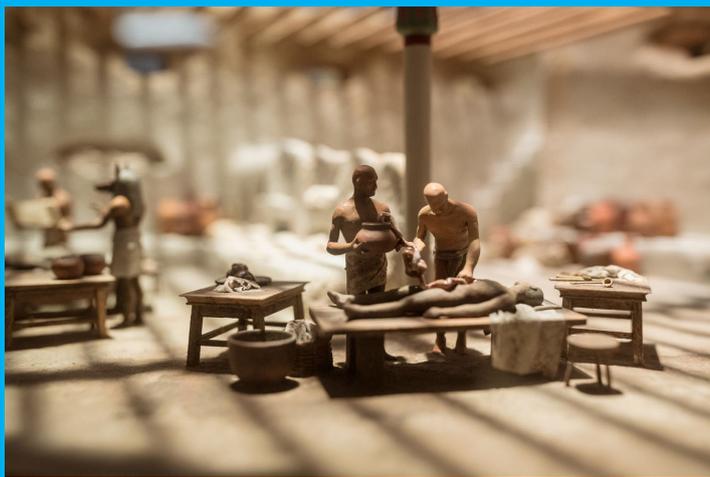
増築されたガラス張りのスペースの回廊の壁面には博物館の歴史とともに、楽しくデザインされた寄付者・団体名が芳名板に掲載されています。

フィールドミュージアム



歴史を感じさせるデザイン

フィールドミュージアム
INSIDE ANCIENT EGYPT



Inside Ancient Egypt

Exhibit Production:
Mark Neff Brandt
Peter Crabbe
Neil Kober
Randolph Olive
Gerard Strack
Daniel Winstock
Daniel Brinkmeyer
Mary Rogger
Paul Brunwood
George Chavez
Edward Currell
Robin Finkler
James Komar
Bar Leo
Harvey Matthew
Scott Matzka
Brian Nave
Gary Schermer
Vincent Shaw
William Skidde
Jeffrey Wright

Exhibit Design:
Lisa McKern
Uriel Schlar
Michael Richm
Jane Gullbertson
Donald Inery
Dianne Hann-Strain
Lynn Hobbs
Raj Lounmathan
Paul Martin
Sandra Quinn
William Skidde
Robert Zimmerman

Exhibit Drivers:
Klaus Barz
Bunee Brownson
William Burgart
John Foster
Mark Lehner
Thomas Logan
Robert Rittner
Robert Steinbach
Edward Weate

Conservation and Collections Management:
Christine Gross
Catherine Sease
Christine Del Be
William George Mallon
Sheryl Hendenreich
Lance Jarrch
Jeanne Mandel
Karen Paulson
Janet Miller
Beth Schockman

Exhibit Development:
Calvin Gray
James Kamen
Frank Yurco
Eileen Campbell
Larrie Hageman
John Peterson
Justin Rand
Michael Rieker
Marvin Rosning
Michael Spock

Photography:
Joan Barfield
Nora Cummings
Margaret Sears
Ron Teta
Thomas Van Ende
Sophia Anastason Wolk
Diane Alexander White

Thanks to Our Contractors:
Bedding Corporation
Maggie Bodwell and Sally E. Barz
Builders Incorporated Products, Inc.
Aquila Cabren
Cort of Wisconsin, Inc.
Hick and Kartz
Kerry, White and Mason
Kirschell Engineering
C. J. Erickson Plumbing Co.
Harry Weisse, A Assoc.
Hays Landfill, Inc.
Johnson Electrical Contractors
Laura Lundgren
Jesse Mangione Scale
Muhana Plastic Construction Co.
Precision Sign Co.
Newman Exhibits
Walshburg Construction Co.

Special thanks to:
Glen Cole
Zorica Dabich
The Geographic Society
Chicago House, Egypt
The Egyptian Antiquities Organization
The Egyptian Consulate
Ahmed A. Farid
Hugh Hamill and the
SCREPS Staff of Field Museum
Ron Hall
Einer Johnson
Linda Kipton Hockett
Walter Kiefer
Phillip Lewis
Gareth Lewis
The Museum of Fine Arts, Boston
Charles O'Neill
Bruce Patterson
Preston Jones of DNR&B, Inc.
Lisa Pluckin
Norman Kahlke
David Rowe

Fatrah Mohammed Sabaha
Cindy Salinas
David Schuler
Daniel Summers
Judith Spock
The University Museum at
the University of Pennsylvania
David Wilford
Edward Zeman
Mohammed Zayed
and Dr. Thomas E. Sanders, who
directed the final tanning
for this exhibit.

Contributors:
Ericz Delpop
Greg Rosenbauer
Ronald Rosenbauer
Gargill Corporation

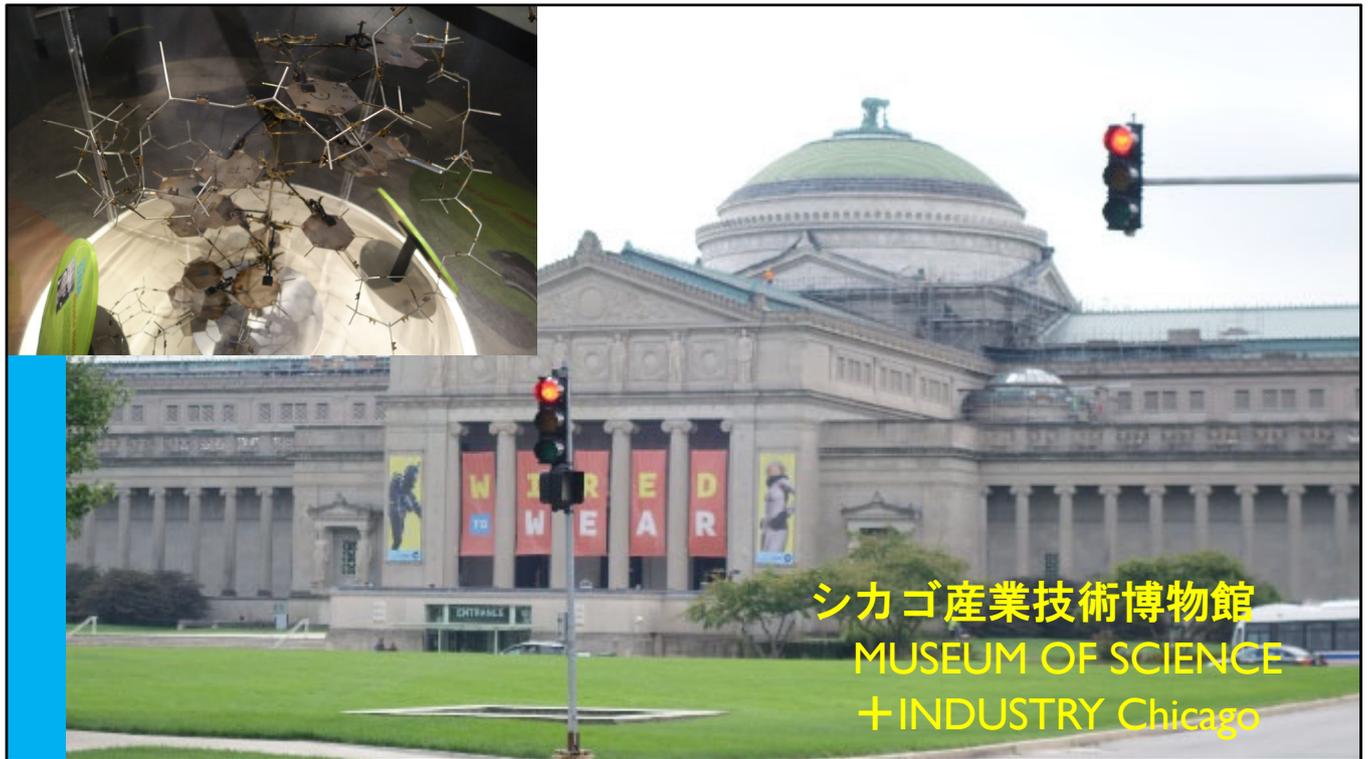
各展示コーナーのわきに、寄付者名を掲示しています。
常設展示のところに、「目標額に達したらこのコーナーの展示を更新します」というキャンペーンを行っていたこともありました。



長年にわたり行われている、教材貸出プログラム



このようなミニジオラマも貸し出し。



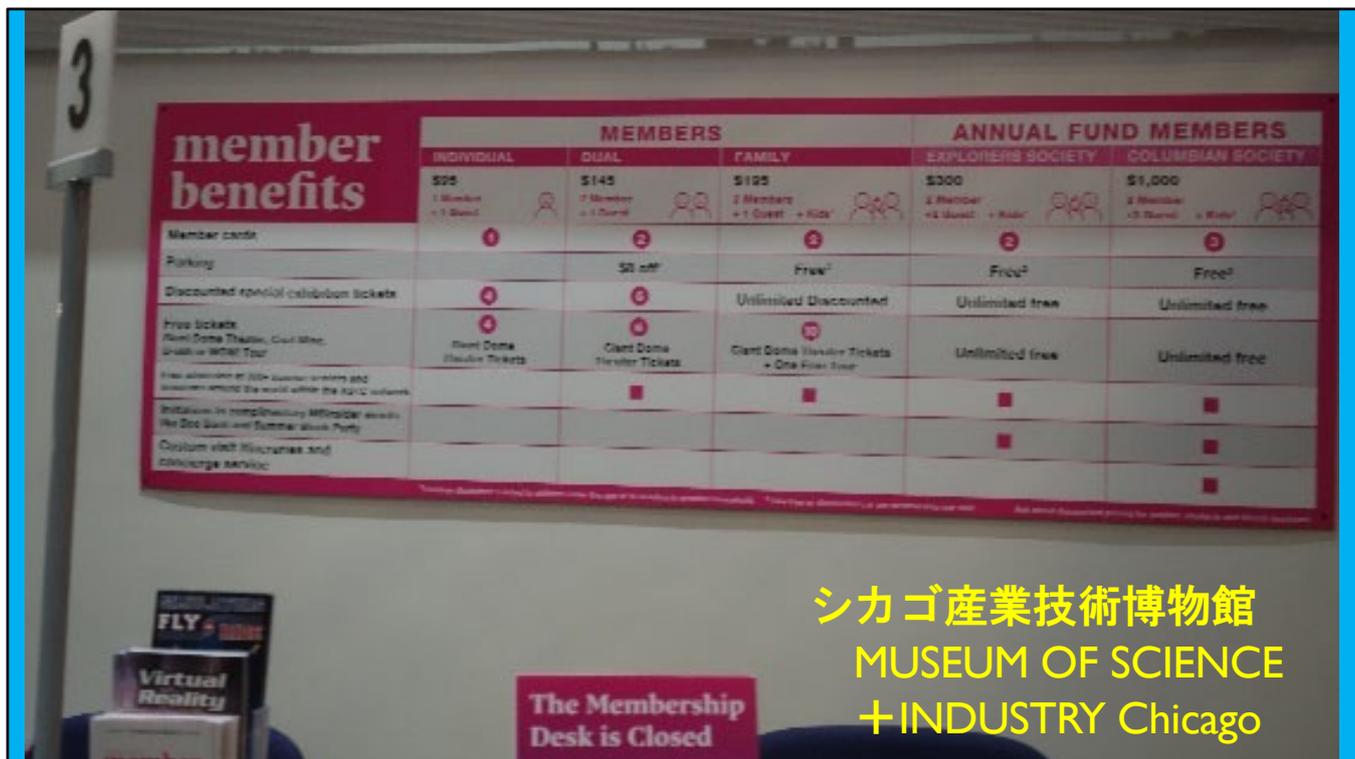
シカゴ産業技術博物館 MUSEUM OF SCIENCE + INDUSTRY Chicago
対応者: Martin Corral, Senior coordinator, Guest admissions

博物館の概要:

広大な面積を持ち、実物のUボートや航空機を展示している年間150万人が訪れる。常設展示室の大部分は約20年前と変わっていない。

運営状況:

予算(2018年)は、60百万ドル(約66億円)で、内訳は、常設と特別展示の入場料収入約20百万ドル、販売やサポート収入約7.9百万ドル、友の会約3.3百万ドル、政府交付金54百万ドル、個人寄付19百万ドル、投資収益3.8百万ドル、その他188万ドルで、入場料収入と個人寄付の割合が各々約1/3と大きい。



シカゴ産業技術博物館 友の会受付

友の会、賛助会、寄付、企業協賛：入館すると、入館チケットを販売するブースの数とほぼ同じ数の友の会ブースが設けられ、積極的に友の会への参加を呼び掛けています。入館料は日本の科学館に比べ、高価です。

「石炭発掘」などのアトラクションを追加することによって料金が上がっていきます。複数のアトラクションに参加すると、友の会に入会した方が得になる場合もあります。



シカゴ産業技術博物館の芳名板はデジタル画面が使われ、時間で表示が変わっていました。寄付者の変更や情報の追加に柔軟に対応できるが、寄付者からすると、謝意が薄いと感じられる可能性があります。芳名板自体も企業からの寄付で制作されていました。また、各展示ホールは巨額寄付者の名前が冠されています。



巨大な鉄道ジオラマ



メンテナンスと更新に対する芳名板。



シカゴ美術館

シカゴ美術館



格調高い芳名板。ガラスに印字。毎年更新しているのか？



各博物館の
友の会の部屋



シカゴ産業技術博物館



シカゴ美術館